

2019年6月10日発行

\*\*\*\*\*

東海生研 ～メールマガジン 第174号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

\*\*\*\*\* 《もくじ》 \*\*\*\*\*

- 1. 2019年度「知」の集積による産学連携推進事業
- ☆2019年度 NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会総会および
- 第1回セミナー (6月19日)
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
- ☆東海地域における農林水産物・食品の GFP 輸出促進セミナー (6月25日)
- ☆食品安全セミナー (6月27日)
- ☆しげんさいせいネット 17期 第1回セミナー (6月21日)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
- 4. 競争的研究資金について
- ☆2019年度官民連携新技術研究開発事業 (第2回公募) (農林水産省)
- ☆2019年度 CO<sub>2</sub> 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 (二次公募)
- (環境省)
- ☆2019年度 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)
- 独創的な人向け特別枠「異能 vation」プログラム (総務省)
- ☆2019年度食品健康影響評価技術研究 (3次公募) (内閣府)
- ☆2019年度新規委託研究 (第二弾) (国立研究開発法人情報通信研究機構)
- ☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)
- A-STEP 機能検証フェーズ 試験研究タイプ
- ☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)
- A-STEP 機能検証フェーズ 実証研究タイプ
- ☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)
- 企業主導フェーズ NexTEP-B タイプ
- ☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)
- 企業主導フェーズ NexTEP-A タイプ
- ☆2019年度産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)
- ☆2019年度産学共同実用化開発事業 (JST)
- NexTEP 未来創造ベンチャータイプ
- ☆2019年度未来社会創造事業 (探索加速型・大規模プロジェクト型) (JST)
- ☆戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発) (JST)
- ☆2019年度研究開発型ベンチャー支援事業/  
企業間連携スタートアップの事業化支援 (NEDO)

- ☆2019年度 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ 2050 (NEDO)
- ☆民間の競争的研究資金
- 5. 新技術情報について

\*\*\*\*\*

◆ 1 ◆ 2019年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 通常総会および第1回セミナー

当研究会は、通常総会と第1回セミナーを下記の通り開催しますので、ご案内致します。

【開催日時】 2019年6月19日(水) 14:30~15:30 総会  
15:45~16:45 第1回セミナー

【開催場所】 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 13階 1303号室  
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

アクセス <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【第1回セミナー】講演

演題:「地元農産物を利用したジャムの製造・販売による地域活性化」

講師:株式会社瀬戸内ジャムズガーデン 代表取締役 松嶋匡史氏

【第1回セミナー主催】農林水産省農林水産技術会議 研究推進課産学連携室  
NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【情報交流会】ウィンクあいち13階 1303号室

【申込み】先着40名 参加費無料。申込締切日:6月12日(水)

参加申込みは、下記のURLから「参加申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAX又は電子メールに添付してお送り下さい。

URL: <http://www.biotech-tokai.jp/archives/2524>

FAX: 052-789-4586

E-Mail: bio-npo2\*y4.dion.ne.jp (\*を@に書き換えてください)

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆東海地域における農林水産物・食品のGFP輸出促進セミナー (東海農政局)

【開催日時】 2019年6月25日(火) 13時30分~17時(受付13時)

【開催場所】 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 18階セミナールーム  
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

駐車場は確保してありませんので、公共交通機関等を利用して下さい。

【内容】

第1部 農林水産物・食品の輸出拡大について

- ・JFOODOによる重点的・戦略的プロモーションについて

JFOODO（日本食品海外プロモーションセンター） 事務局長 大泉裕樹 氏

- ・GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）の取組について

農林水産省食料産業局輸出促進課 輸出プロジェクト室長 小坂伸行 氏

第2部 輸出に取り組む事業者からの情報提供について

- ・金印株式会社 代表取締役会長 小林一光 氏
- ・株式会社萬来トレーディングコンサルタント 代表取締役 南川 勤 氏
- ・株式会社平松食品 代表取締役 平松賢介 氏

【開催案内】 <http://www.maff.go.jp/tokai/press/renkei/190528.html>

【交流会】 名刺交換会とのことです。

【申込み】 講演会の参加費無料。定員100名（申込者多数によりご参加いただけない場合には連絡があります）。申込締切は令和元年6月21日（金曜日）17時。

下記URLのインターネット又はファックスでお申込み下さい。

送信先 FAX：052-219-2670 E-mail：

参加申込フォームは下記のURLからダウンロードし、必要事項を入力の上、お申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tokai/form/renkei/20190524.html>

【対象者】 農林水産物・食品の輸出に取り組む農林漁業者・食品事業者、輸出に関心のある農林漁業者・食品事業者、地域商社、物流業者、地域金融機関、行政機関等

【主催】 東海農政局

【お問い合わせ先】 東海農政局 経営・事業支援部地域連携課

担当者：安藤、岩倉、浅井、池淵

代表：052-201-7271（内線2713）

ダイヤルイン：052-223-4619 FAX番号：052-219-2670

.....

☆食品安全セミナー

（東海農政局）

【開催日時】 6月27日（水）13時30分～16時

【開催場所】 東海農政局 第1会議室（1階）（愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2）

会場案内図は下記プレスリリースの添付資料を御覧ください。

駐車場は確保してありませんので、公共交通機関の利用をお願いします。

【プレスリリース】

<http://www.maff.go.jp/tokai/press/seikatsu/190527.html>

【主催】 東海農政局

**【内容】**

第1部 13時30分～

「食品安全と行政の取組」

東海農政局 消費・安全部 消費・安全調整官 田鎖 武 氏

第2部 14時50分～

「農薬の安全性について ～農薬の安全確保と適正使用について～」

東海農政局消費・安全部 安全管理課長 春日井 健 氏

**【参加者募集】** 募集人数 40名（定員になり次第、募集が締め切られます）

参加費：無料

**【申込み】** 申込期限 6月25日（月）17時まで

参加申込書は上記プレスリリースの URL から取り出し、必要事項をご記入の上 FAX 又はインターネットでお申し込み下さい。

.....  
☆しげんさいせいネット 17期 第1回セミナー

本セミナーでは、食品リサイクル法の見直し基本方針に関連して、その内容を把握し、食品リサイクル手法のトレンドとその変遷について理解を深めます。

**【開催日時】** 2019年6月21日（金）14時～17時

**【開催場所】** 名古屋クラウンホテル 6階 「虹」

（愛知県名古屋市中区栄1-8-33）

**【講演】**

1. 「食品リサイクル法の見直し基本方針（案）について」

環境省 中部地方環境事務所 資源循環課 水谷宏忠 氏

（内容：今回の基本方針見直しについての解説）

2. 「食品リサイクル制度に基づく再生利用のトレンドとその変遷」

日報ビジネス株式会社 環境編集部 新倉 充 氏

（内容：食品リサイクル法の成立前から現在に至る食品リサイクル手法のトレンドと、その変遷を追い、再生利用の現場が抱えてきた様々な課題と、各課題に対応した制度見直しの歴史を振り返ることで各食品リサイクル手法の今後を展望する）

**【申込み】** 参加費：会員 無料、会員外 1,000円（資料作成等の代金）

参加申し込み：6月10日（月）までに申込書をファックス又は電子メールで書き宛に送付して下さい。

**【問合せ先／申込先】** しげんさいせいネット事務局 FAX：052-703-2119

E-mail: shigensaiseinet@tcoop.or.jp

---

◆ 3 ◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターが開催するセミナー等の情報は、下記 URL の通りです。

<http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/event/index.html>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報の URL は下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会（JATAFF）が開催するイベント情報の URL は下記の通りです。<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 2019年度競争的研究資金等について

☆2019年度官民連携新技術研究開発事業（第2回公募） 農林水産省（農村振興局）

[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190524\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/190524_1.html)

分野等：

- 1.農地の大区画化・汎用化に資する技術
- 2.農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
- 3.土地改良施設の耐震強化等に資する技術
- 4.小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
- 5.農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：2019年5月24日～7月10日

☆2019年度CO<sub>2</sub>排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業（二次公募）（環境省）

[http://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/biz\\_local/31\\_06/2019co2\\_1.html](http://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/biz_local/31_06/2019co2_1.html)

分野等：

- 1.交通低炭素化技術開発分野
- 2.建築物等低炭素化技術開発分野
- 3.再生可能エネルギー低炭素化技術開発分野
- 4.バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野
- 5.社会システム革新低炭素化技術開発分野

公募期間：2019年5月23日～6月19日

☆2019年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）独創的な人向け特別枠

「異能vation」プログラム

（総務省）

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000280.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000280.html)

分野等：ICT 分野において破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦を支援する。

公募期間：2019年6月3日～7月31日

.....  
☆2019年度食品健康影響評価技術研究（3次公募）（内閣府（食品安全委員会））

[http://www.fsc.go.jp/chousa/kenkyu/kenkyu\\_koubo/kenkyu\\_31\\_koubo\\_sanji.html](http://www.fsc.go.jp/chousa/kenkyu/kenkyu_koubo/kenkyu_31_koubo_sanji.html)

分野等：

1. ノロウイルスによる健康被害実態及び食品寄与率の推計に関する研究
2. アニサキス食中毒におけるリスク評価及びリスク低減策に関する研究
3. ベンチマークドーズ等の算出に用いるソフトウェアに関する研究

公募期間：2019年6月4日～25日

.....  
☆2019年度新規委託研究（第二弾）（国立研究開発法人情報通信研究機構）

<https://www.nict.go.jp/press/2019/05/13-1.html>

分野等：データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発等

公募期間：2019年5月13日～6月10日

.....  
☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP（JST）

機能検証フェーズ 試験研究タイプ

公募情報：<https://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

公募要領：[https://www.jst.go.jp/mp/file/h31kinou\\_koubo.pdf](https://www.jst.go.jp/mp/file/h31kinou_koubo.pdf)

分野等：大学等のシーズが企業ニーズ（企業の抱える技術的課題）の解決に資するかどうか確認するための試験研究を支援対象とする（医療分野を除く）。コーディネーター等の橋渡し人材が企業と大学等とを調整の上、三者連名で大学等の研究代表者が代表して提案書を作成し応募する。

研究開発期間及び研究開発費：1年、上限300万円

公募期間：第2回目：2019年5月23日～7月23日正午

注意：同一研究代表者が、(1)A-STEP 機能検証フェーズへの複数課題の応募不可。

(2)試験研究タイプと実証研究タイプの両方への応募不可。(3)試験研究タイプの第1回と第2回の両方への応募不可。

.....  
☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP（JST）

機能検証フェーズ：実証研究タイプ

<http://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

分野等：企業等の開発ニーズに基づき、技術移転の可能性が見込まれる大学等が保有

する研究成果、知的財産の活用のための試験研究や実証研究を支援する。

公募期間：2019年5月23日～7月23日

.....  
☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)

企業主導フェーズ NexTEP-B タイプ

公募情報：<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2019-nextep-b.html>

分野等：研究開発型中小企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援対象とする。

研究開発期間：原則最長5年

研究開発費：マッチングファンド方式、実施料納付、原則～3億円

公募期間：2019年3月11日～6月10日正午

.....  
☆2019年度研究成果最適展開支援プログラム (JST)

企業主導フェーズ NexTEP-A タイプ

公募情報：<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/2019-nextep-a.html>

分野等：企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの大規模な実用化開発を支援対象とする。

研究開発期間：原則最長10年

研究開発費：実施料納付、原則1億円～15億円。開発成功時：全額年賦返済、開発不成功時：10%返済、実施料納付

公募期間：通年募集、第1回目締切 2019年7月31日正午

.....  
☆2019年度産学共同実用化開発事業 NexTEP 一般タイプ (JST)

[http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu\\_2019.html](http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_2019.html)

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援する。

公募期間：2019年3月29日～7月31日（第1回）、11月29日（第2回）、  
2020年3月31日（第3回）

.....  
☆2019年度産学共同実用化開発事業 NexTEP 未来創造ベンチャータイプ (JST)

[http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu\\_2019.html](http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_2019.html)

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、原則として設立後10年以内の企業が行う、開発リスクは高いが未来の産業を創造するインパクトが大きい開発について支援する。

公募期間：2019年3月29日～7月31日（第1回）、11月29日（第2回）、  
2020年3月31日（第3回）

.....  
☆2019 年度未来社会創造事業（探索加速型・大規模プロジェクト型） (JST)

<http://www.jst.go.jp/mirai/jp/open-call/research/r01/index.html>

分野等：

- 1.探索加速型（「超スマート社会の実現」領域、「持続可能な社会の実現」領域、「世界一の安全・安心社会の実現」領域、「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域、「共通基盤」領域）
- 2.大規模プロジェクト型

公募期間：2019年5月15日～7月24日

.....  
☆2019 年度戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発） (JST)

SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム

[https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/current/proposal\\_2019.html](https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/current/proposal_2019.html)

分野等：SDGs の達成に向けて目指すべき姿（ビジョン）を描き、国内の地域における社会課題を特定し、その解決策を実証する。さらに、実証された解決策を他地域に展開するための事業計画を策定する。

公募期間：2019年6月3日～7月29日

.....  
☆2019 年度研究開発型ベンチャー支援事業／企業間連携スタートアップの事業化支援 (NEDO)

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100206.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100206.html)

分野等：事業会社と連携して事業開発を行う研究開発型ベンチャーを支援する。

公募期間：2019年5月15日～6月25日

.....  
☆2019 年度 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ 2050 (NEDO)

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2\\_100208.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100208.html)

分野等：2050年頃を見据えた温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術・システム、及びその技術・システムにおいて解決すべき課題を明確にしつつ、その課題を解決できる革新的な低炭素技術シーズについて、先導研究として実施する。本公募の対象とする研究開発テーマは、5つの研究分野(1)次世代パワーエレクトロニクス、(2)環境改善志向次世代センシング、(3)超電導材料開発及び応用、(4)軽量・耐熱の極限を目指す未来材料、(5)CO2有効活用「Net Zero Emission あるいは低濃度 CO2 直接資源化」)のいずれかに該当する研究開発内容とする。

公募期間：2019年5月24日～7月12日

.....



<民間の競争的研究資金>

当研究会のホームページに掲載した公募情報をご覧ください。

「農林水産・食品分野の公募情報」:

<http://www.biotech-tokai.jp/archives/public/public-2508>

#### ◆ 5 ◆ 新技術情報について

☆米・麦・大豆・芋関係

○濃い紫色で食味の良い紫サツマイモ品種「ふくむらさき」

生食用サツマイモについては、多様な品種がありますが、農研機構は、食味の良い紫サツマイモ新品種「ふくむらさき」を育成しました。「ふくむらさき」は、現在の紫サツマイモの主力品種である「パープルスイートロード」よりも紫色が濃く、食味も優れています。蒸しいもや焼きいもにした場合の糖度は、「べにはるか」並みに高く、しっとりとした食感をしています。関東地方の青果用サツマイモ産地を中心に普及が予定されています。2019年春より、民間種苗会社などから苗が供給されています。

・農研機構 プレスリリース:

[https://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/karc/120215.html](https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/120215.html)

☆果樹関係

○小型で簡便な花蕾採取機を開発

果樹の授粉では、雌雄異株の樹種（キュウイなど）や自家不和合性で異なる品種の花粉が必要な樹種（スモモ、ナシなど）では、採花して花粉を集める必要があります。しかし、従来の人手による採花作業は、機械化されておらず人海戦術で行う必要がありました。農研機構果樹茶業研究部門では、花蕾採取機を開発し、従来の方法と作業時間を比較すると、スモモでは約7割、ナシでは約8割削減できました。今後、実用規模での試験を行い、2020年度以降の実用化が目指されています。

・農研機構 プレスリリース:

[https://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/iam/130443.html](https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/130443.html)

☆森林・林産関係

○シイタケ害虫の新たな天敵を発見～菌床シイタケを脅かすキノコバエを蜂が退治する～

菌床シイタケ栽培において、キノコバエが大発生し被害を与えることがあり、しかも有効な防除法が無いので問題となっています。国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林

総合研究所では、菌床シイタケの害虫であるナガマドキノコバエ類の幼虫を殺す寄生蜂を発見し、この寄生蜂がナガマドキノコバエ類の増殖抑制に高い効果を有することを明らかにしました。今後、自然環境に生息するこの寄生蜂を天敵として利用するための技術開発が進展することを期待しています。

・国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 プレスリリース：

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2019/20190514/documents/20190514press.pdf>

.....  
編集後記

6月に入り、盛夏のように暑い日もありましたが、朝夕はさわやかな風を感じることもしばしばありました。新緑の田園風景を眺めて、晴れやかな気持ちで散歩なども楽しむことができました。梅雨入りが既に発表されていますが、雨の日も気分良く過ごしたいものです。

さて、木下 斉(あきら)著「稼ぐまちが地方を変える ～誰も言わなかった10の鉄則～」(NHK出版新書：2015年5月10日第1刷発行)を読みました。著者の木下氏は東京都生まれで、まちビジネス投資家・事業家で、高校一年からの十七年間で経験した「まちづくり」に関する取り組みの実体験と、その実体験にもとづく、「稼ぐための教訓」について書かれています。著者が地域で事業を行うときはいつも、「まちを一つの会社にみたくて経営する」ことを基本とされており、資金調達し、投資し、回収して、利益をあげ、それを元手としてさらに新しい事業に再投資するというサイクルをまちの経営で徹底することが重要と述べておられます。まちづくりを成功させる「10の鉄則」を次のように述べられています。(1)小さく始めよ。(2)補助金を当てにするな。(3)「一蓮托生」のパートナーを見つけよう。(4)「全員の合意」は必要ない。(5)「先回り営業」で確実に回収。(6)「利益率」にとことんこだわれ。(7)「稼ぎ」を流出させるな。(8)「撤退ライン」は最初に決めておけ。(9)最初から専従者を雇うな。(10)「お金」のルールは厳格に。さらに、現場で取組んでいる実践者が自らいろいろな提言をしていくことが重要と述べられており、地域活性化に向けて大いに参考となると思います。(中山博導 CD 記)

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====  
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・中山・道村

TEL&FAX : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 5 8 6

E-mail : bio-npo2\*y4.dion.ne.jp (\*を@に書き換えてください)

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>